

## スペックの見方

応募メーカーから提供を受けた参考情報です。処理風量と本体価格の目安を示しています。

応募メーカー名と性能試験を実施した装置の型式名です。

応募メーカーのホームページアドレスと問い合わせ先の電話番号です。

○参考メーカー提供情報  
処理風量:  
○○m³/分(平均)  
本体価格:  
○○万円程度

装置外観

OOOO株式会社  
TKY-160-00

問い合わせ  
ホームページ: <http://www.oooo.co.jp>  
●電話番号: 03-XXXX-XXXX

### 中小企業向けのVOC脱臭処理装置

- 処理方式: ○○法+△△法(□□)
- サイズ: 幅 1,000×奥行き 3,000×高さ 1,500(mm)
- 稼働重量: 2,000(kg)
- 本体価格: 3,000,000(円)
- 運転費: 300,000(円/年)
- 消耗品費: 100,000(円/年)

・性能試験場所: 塗装工場(塗装ブース)  
・処理風量: 160(m³/分)  
・入口濃度: VOC 720(ppmC) 臭気 500  
・処理効率: VOC 53% 臭気 68%

以下の項目は、第三者機関が、応募メーカーの申請、あるいは特定の条件下で行われた性能試験結果に基づき評価したものです。環境省等の認定や認証を与えるものではありません。装置の導入、使用にあたってのトラブル、事故等については、環境省等は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

### 応募メーカーの申請に基づき評価した項目

#### VOC 処理方式

VOC を分解・除去する方法(原理)です。燃焼法、吸着法、洗浄法、生物分解法、プラズマ分解法などがあります。

(参考:脱臭ナビホームページ <http://www.dashdb.jp/>)

#### サイズ

処理装置の大きさを幅×奥行き×高さ(mm)で表しています。

#### 稼働重量

処理装置の通常運転時の重量(kg)を表しています。都市部のように工場の敷地が狭小な地域では、処理装置を屋上や室内に設置する必要があることから、より軽量の装置が求められています。

#### 本体価格

初めに装置の購入にかかる費用(円)です(設置のための工事費用は含んでいません)。性能試験を実施した装置の本体価格を記載しています。一般的には、処理風量が大きくなると、風量あたりのコストが抑えられるメリットがあります。

#### 運転費・消耗品費

処理装置を運転・維持管理するための費用(円/年)です。光熱費のほかに消耗品代などもかかります。性能試験を実施した装置の運転費を記載しています。燃焼法などの場合、一般的には廃熱を再利用するので、コスト抑制のメリットがあります。

### 特定の条件下で行われた性能試験結果に基づき評価した項目

#### 性能試験実施場所

性能試験を実施した工場の分類を表しています。印刷、塗装工場などで、実地による性能試験を実施しました。

#### 処理風量

処理できる排ガスを表す数値です。装置導入の際には、あわせて局所排気装置の風量を適正化することが重要です。

#### 入口濃度(VOC・臭気)

装置に入る前の排ガスの VOC 濃度(ppmC)と臭気濃度を表しています。

#### 処理効率(VOC)

装置に入る前と装置を出た後の VOC を比べて、どの位 VOC が低減しているのかを表しています。実測による結果を掲載していますが、処理風量や VOC 濃度などの条件によって変動します。

#### 処理効率(臭気)

装置に入る前と装置を出た後の臭気を比べて、どの位においが低減しているのかを表しています。実測による結果を掲載していますが、処理風量や臭気濃度などの条件によって変動します。